

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月23日	記入者	細島	連絡先	5174
平成18年度部名	教育総務部	課名	学校保健課	課長名	野田主税
平成19年度部名	教育環境部	課名	学校保健課	課長名	野田主税
事務事業名	保健室管理運営事業				
予算上の事務事業名	保健室管理運営事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14120		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
学校保健法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修		5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
学校における保健活動の円滑な推進を図るため、保健室に必要な消耗品、備品等の配布、健康診断用医療器具の消毒及び寝具類等のクリーニングを行う。			市立小学校・中学校の保健室 111箇所		
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
医薬消耗品等の配布 年2回(7月、1月) 備品の配布 年1回(12月) 枕カバー、シーツ等のクリーニング 通年 布団、カーテンのクリーニング 年1回(夏休み期間) 健康診断用医療器具の消毒 定期健康診断及び就学時健康診断の実施時期 民間委託で実施					
上記の項目のうち定期的のものについては、必要が発生した場合随時対応も行う。					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	19,720	21,268	26,868	30,596	30,596
一般財源	19,720	21,268	26,868	30,596	30,596
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,455	1,445	1,445	1,445	1,445
事業コスト合計	21,175	22,713	28,313	32,041	32,041
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	保健室管理運営事業			対象名称と単位	全市立小学校・中学校の児童生徒 57,823人 (小39,378 中18,445)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	21,175	22,713	28,313	32,041	32,041
対 象 数	50,875	51,254	54,826	57,823	57,825
単位あたり経費(円)	416	443	516	554	554
前 年 度 比		1.06	1.17	1.07	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	実施率(%)	指標式と指標の説明		事業実施された保健室数／全保健室数 参考：保健室数 H16 82 H17 82 H18 100 H19～ 111	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	適正に機能し、運営された保健室の割合(%)	指標式と指標の説明		(全保健室－問題の発生した保健室)／全保健室 参考：保健室数 H16 82 H17 82 H18 100 H19～ 111	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		学校保健法に基き設置された保健室の維持管理事業であり、費用対効果、運営状況等適正に実施されている結果を示している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
保健室運営について、養護教諭からの意見のみでなく、利用する児童生徒の意見・感想の聴取を図る。			医薬消耗品、備品及びクリーニング単価の上昇傾向がみられ、それに対応した予算措置が必要である。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			